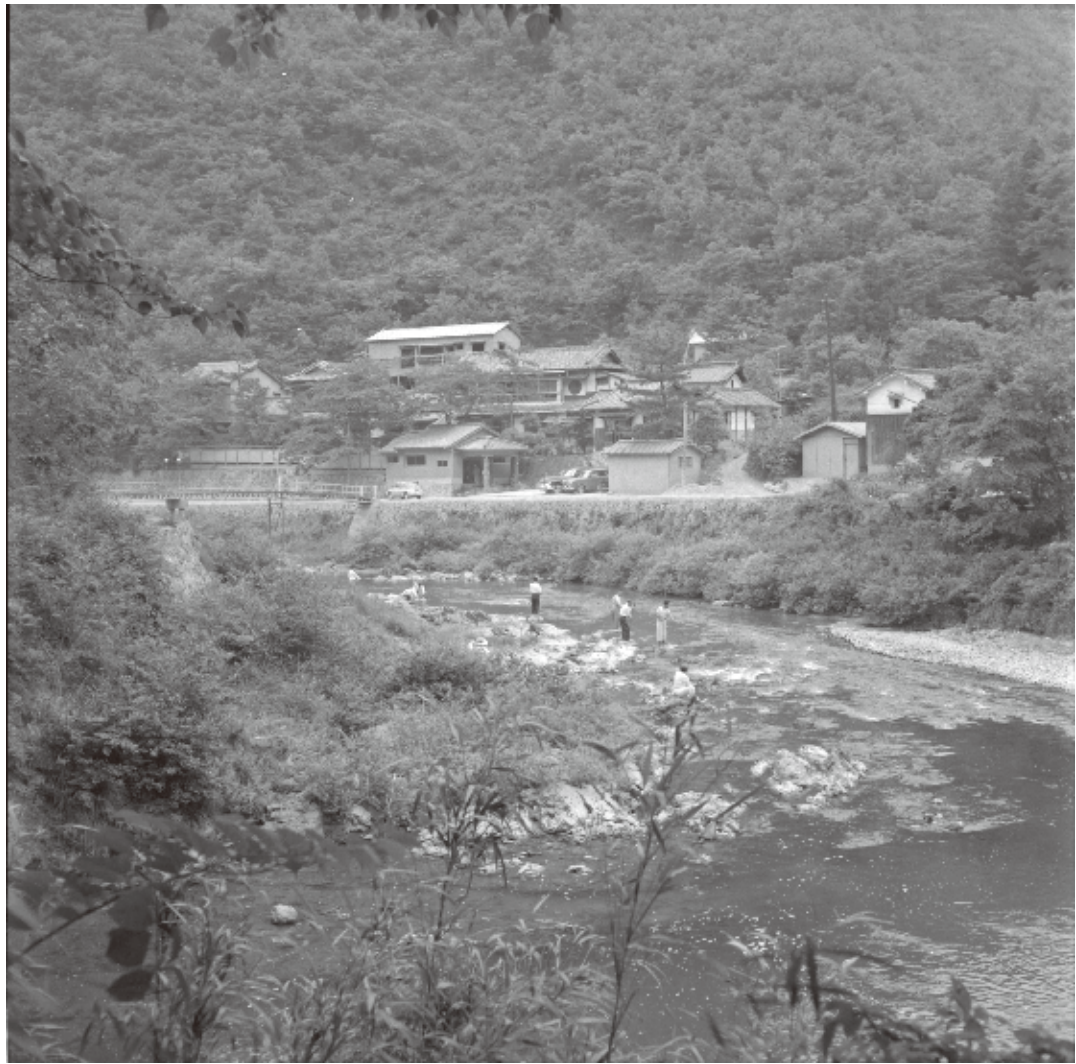


観光都市へのまなざし



▲昭和 33 (1958) 年 一庫

「一庫温泉能勢電鉄山下駅からバスを利用して一庫駅で下車すれば温泉前である。この地は大塩平八郎謀議の所として名高く、明治初期まで有馬、平野温泉と共に摂津三湯の一つに数えられ有名であった。昭和二十八年厚生省の認定により、温泉法による温泉として認められ、神経痛・婦人病などに特効がある。一庫温泉に隣接して、ますの兵庫県ふ化湯があり、桜・紅葉の景色もよく、春は一庫川のます釣りにます料理、夏は名高い鮎釣り鮎料理、キャンプ村も大賑で、秋は松茸狩りや、栗拾い、冬は猪ぼたん鍋と四季を通じて都人の余じんを落す快適地である。」
（『市勢要覧 1957』より）



◀昭和 40 (1965) 年 能勢妙見ケーブル

大正 14 (1925) 年に開設された妙見ケーブルは、戦時中にいったん撤去されましたが、昭和 35 (1960) 年 4 月に復活しました。写真は春の行楽シーズンに撮影されたようで、線路の両脇に桜が満開です。モデルのお嬢さんのスカーフと、桜に合わせた？ピンクのスーツがとってもオシャレです。当時は車掌さんが乗車して車内で切符を売っていたのでしょうか。多くの人々に愛された妙見ケーブルは、残念ながら令和 5 (2023) 年 12 月に廃止となりました。

昭和 31 (1956) 年 旧・川西市役所 (中央町) ▶

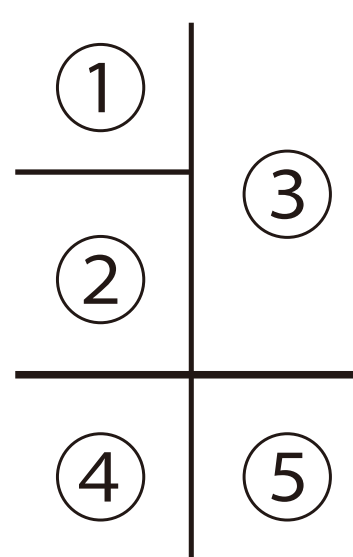
2 年前 (S29・1954 年) に誕生した川西市は、大都市近郊の「観光都市」としての発展も目指していました。振興施策のひとつとして、旧・市庁舎の前に大きな観光マップの看板が立てられました。地図に描かれているのは妙見山・一庫周辺・ゴルフ場・多田神社などです。観光案内図と銘打ちながらも「市民憲章」が大きく書かれており、看板が観光客向けなのか市民向けなのか曖昧です。



◀昭和 36 (1961) 年？ 鳴尾ゴルフ倶楽部 (西畦野)

「ここ東谷地区にある鳴尾ゴルフ場は十八万坪という広大な面積、関西随一と呼ばれる高級スポーツ場である。砂塵をまいて自家用車は続く。美しい芝生、悠々と歩くゴルファー、附沿うキャディー、どう見ても社用族、公用族と言われる階級のスポーツで大衆性のスポーツとしての縁の遠いのが玉に傷。しかし澄み切った秋空のゴルフは見るからに爽快ではある。」（『広報かわにし』昭和 30 年 9 月 5 日号）

観光都市へのまなざし



①②昭和 33 (1958) 年 5 月 多田神社付近 ③同 旧・川西市役所前 (中央町) ④⑤昭和 40 (1965) 年 4 月 多田神社付近

川西市の春を彩る源氏まつりは、源義家の 850 年祭として昭和 33 (1958) 年に始まり、その後、「川西観光まつり」→「川西市源氏まつり」→「清和源氏まつり」と名称を変えながら現在も続けられています。開始時から武将やお姫様などのパレードがメインとなっていたことがわかります。写真④⑤は多田神社付近かと思われますが、住宅が立ち並ぶ今日と違い、のどかな田園地帯の中を行列していたようです。